

健康で心豊かな地域づくり

たかす

第204号

令和4年12月4日



鷹巣自治会

SDGs活動って

何？(二)

金本 勉

『エスディージーズ』とは

「誰一人取り残さない持続可能な社会実現のために、日々の暮らしや地球を守りながら、さまざまな問題を解決していく」世界規模の目標のことで、それを実現するための活動を言います。

その分かりやすい例として、鷹巣自治会が取り組んでいる活性化委員会の『宿泊事業』を挙げました。

遠く『いろいろ学級』に始まって、それが発展的に『交流クラブ活動』へと受け継がれ、地域づくり学習が深まる中で、活性化委員会が立上がり、地域づくりを事業としてとらえ、収入を得る活動へと変化発展させたのが、まさに今の鷹巣の姿なんです。

初代委員長に金本秀夫氏を迎え、藤原誠氏を事務局長として出発。その後、委員長を村上廣恭氏が引

き継いで早くも十年を経過した活性化委員会活動。

現自治会長及び元自治会長経験者を主軸として活動を進化発展させてきたわけですが、さらに地域起こし協力隊員二名の派遣を頂き活動に拍車をかけてもらっているのが現状であります。

これこそが他所に誇れる持続可能な地域づくりに他ありません。

今後、若い人材が次々に名乗り出て、地域づくり活動に積極的に参加して頂けることを願って止みませ

ん。そして、誰もが鷹巣に生まれ生きて良かった。この鷹巣に住まいできて良かった。こんな鷹巣で



生涯を閉じられることこそ最高の幸せ・・・と、言える鷹巣に昇華させていく、それがSDGsの取り組みなんです。

現在、宿泊事業を中心に、炭焼きとその販売事業。『おんまく農園』貸農園事業。鷹巣の農産物販売事業等が進められつつありますが、住民の理解と積極的な協力なしにはどうにもなりません。一人の小さな力でも鷹巣のすべての人が小さな力を出し合い心と力を一つにして、いわゆる総力戦で事に当れば、きっと素晴らしい鷹巣が実現すること間違いありません。

SDGs活動に事寄せて鷹巣の地域づくりを考えてみました

自治会告知板

鷹巣自治会長 春名 省吾

落ち葉が風に舞う季節を迎え、気づけば日脚もすっかり短くなりましたが皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと思います。

この「新型コロナウイルス感染防止」の為、まだまだイベント等も縮小やら自粛、といった制限を余儀なくされていますが、皆様にはマスク着用と手指消毒の感染対策をとりながらではありますが出来るだけ多くの出会いを作り、楽しい生活を送って欲しいと思います。

先月の鷹巣八幡神社秋まつりも神事のみと質素なものでしたが、自治会主催の「お楽しみ抽選会」を実施したところ、おかげさまで全戸に賞品が行き渡り役員一同、ひと時ですが皆様に楽しんで頂けたかと喜んでいきます。



又、この時期に例年ですと「ふるさと集い」が開催されて鷹巣の一大イベントが実施される予定では有りますがここ3年、コロナ禍で中止されてきました。今年も皆様が一同に出会える場がなくなってきました事、なにか寂しい気持ちです。

さて、道路等の拡張及び県土木への要望についてですが、この度ゴルフ場前から小茅野へ行く道路(県道大沢岩野辺線)の工事日程が決まり、通行止め期間としてお知らせがありました。

【期間：令和四年十一月四日

～令和五年三月二五日】

尚、宍粟市より追記にて、工事終了後も通行不可です。との連絡で

した。

まだまだお知らせしたい事もありますが詳細については各自自治会役員さんに聞いて頂きます様よろしくお願い致します。

年末に向けて皆様お忙しいかと存じますが朝晩の冷え込みが厳しいこの季節、体調など健康にはくれぐれもご留意下さり、元氣にお過ごし下さい。



活性化委員会便り

活性化委員長 村上 廣恭

鷹巣地域の皆さま 活性化活動事業には、色々ご協力いただきありがとうございます。年の瀬も押しせまり忙しい時期となってきました。

先日、一足早く小学校や周辺の設備の大掃除を済ませて頂き、大変きれいになりました。

年内も宿泊等の予約が詰まっているようで、お客様にも気持ちよくご利用いただけたと思います。昨年に続き大雪の予報があるよう

で少々心配しております。さて、皆様にご協力いただきました炭焼き事業を数年前から続けてき

ましたが、近隣の小中学校、高校より炭焼き体験学習の申し込みが入ってきております。

しかしながら、材料の原木が手近なところ
でなかなか
手に入り
にくくな
りました。

そこで、皆様の周
辺で2本
でも3本
でも結
構です
ので車
に積み
やすい
ところ
で切らせ
ていただ
ける所が
ありま
したらご
一報いた
だきたく
思いま
す。



村上廣恭 090-8821-0167
村上良信 090-3038-5541
活性化(廣重) 080-8500-5535

よろしく願います。

また来たいところ たかす

たかす東小学校 藤原 誠

「教室で泊まるテントで泊まる」と今年もたくさんの方にお越しいただきました。普通の旅館に泊まるのと違ってセルフのことが多く、自炊でもあるのに再来者がとても多いのです。年間に何回も

「また来たよ」の方があります。アンケート分析は出来ていませんが、料金が安いこともあるようですが、何かの楽しさ、他がない充実を感じていただいているようです。

それは、学校で泊まることそのものの楽しさだけでなく、その上に、親子の声かけ呼びかけ、家にいる時よりも親が優しい、遊んでくれる、運動場を親子で走って競争した。親子で田舎散歩をしてカニを見つけた。我が子の元気な行動が見えた。ふとんの場所を一緒に決めてシーツをかけた。食べる用意や片付けを手伝ってくれたなど、「生活時間の共有」ができることの中にあるようです。



日常では、親は疲れた顔をして家事、子どもはだまってゲーム機を見ているなどで時間を過ごしていることが多いと思いますが、「たかす」に行くと、ほとんどを「親子の協働」でやらなくちゃできないのです。親子の協働の中

に大切な意味を感じ、喜びを求め人たちが「たかす」に何回も来ていただいているように思えます。時々黒板に子どもたちの字で「ありがとう」と書かれていきます。

地域おこし協力隊です



地域おこし協力隊 廣重 希美
雪虫とやらがとんでいる、と耳にするようになりました。

雪虫・・・？ 3年目でもまだまだはじめてはあふれていますね。
みなさまいかがお過ごしでしょうか。

そろそろ雪が降りそうです。最近のひろしげはというと、たかす東小学校での4年目を考えています。

そして「種とみず」では、出合うみなさまのやってみてほしいことがすこしずつ集まってきているように感じます。

どちらもこの3年間でやってきたこと、感じてきたことを繋げて

いける動きにできるよう日々考えているのですが、考えているだけではだめですね。

次は、みなさまとチャイやスープで温まる会を開きたいところで水道管とともに、無事年が越せますようにと願いながら、今年もたかすで新年を迎える予定です。2023年もよろしくお願いたします。

地域おこし協力隊 林 拓真

皆さんこんにちは、協力隊の林です。

十二月になっていよいよ本格的な冬になってきました。

私にとっては鷹巣で迎える3度目の冬です。

この冬は、春からの活動に向けての準備期間にしたいなと思っています。

春になったら協力隊の任期も残すところ半年になります。

任期後も鷹巣で暮らせていけるよ



うに、生活基盤を充実させたいと思います。



文芸欄 (令和四年十月)

番鴨車に怯え纏れ立つ

金本 勉

農作業失敗数多秋じまひ

森井三千代

満月を眺めて心丸くなる

金本百々子

.....

(令和四年十一月)

秋夕焼長き人影わが身影

金本 勉

諸堀りの子等の脊に降る陽の温み

森井三千代

山間のばくりと聞く通草かな

金本百々子

—あとがき—

今年もあと僅かになりました。本当に月日の過ぎるのは早いものです。コロナに明けコロナに暮れる一年でしたが、そんな中で活動制限もだいぶ緩和されてきて、コロナと共存の方法を模索していくようになってきました。来年こそ良い年でありますように願っています。

村上伸和(一)